こたえ 文の組み立て

月 日 名前

標準（ひょうじゅん）④

1 主語を□に、述語を□に書きましょう。

（一）妹が 歌い、弟が おどる。 一つ目の述語 歌い

（二）妹が 歌い、弟が おどる。 二つ目の述語 おどる

（三）雨が ふると、道が ぬれる。 二つ目の主語 道が

（四）母が 作った 料理は おいしい。 文全体の主語 料理は

2 次の文の説明に合うほうに、○をつけましょう。

（一）「犬が走る。」（主語と述語の組が一つ・二つ）

（二）「風がふき、波が立つ。」（対等にならぶ二組・一組）

（三）「友達がくれた本を読む。」（組の中に組がある・対等にならぶ）

3 主語と述語がねじれないように、正しいほうに○をつけましょう。

（一）ぼくの夢は、医者に（なることです・なりたいです）。

（二）原因は、ねぶそくで（です・になりました）。

おうちの方へ

- 長い文は、主語と述語の組に分けると読みやすくなります。

© きりんドリル kirindrill.com